

毎月勤労統計調査地方調査結果 [福岡県] の概要 (平成18年10月分)

主なポイント

〔前年同月比でみて〕

- ・ きまって支給する給与はやや減少
- ・ 所定外労働時間は増加
- ・ 常用労働者数はやや増加

1 賃金の動き

常用労働者の一人平均の現金給与総額は、全規模の調査産業計で251,530円、前年同月比1.2%の減となった。(規模30人以上では286,449円、0.5%減)

(1) 所定内給与

全規模	234,427円、	1.0%減
規模30人以上	264,009円、	0.1%増

(2) きまって支給する給与：所定内給与と所定外給与をあわせたもの

全規模	249,602円、	0.9%減
規模30人以上	284,608円、	増減なし

- ・ きまって支給する給与が増加した産業(全規模)
不動産業 4.1%増、医療、福祉 3.3%増
- ・ きまって支給する給与が減少した産業(全規模)
金融・保険業 11.6%減、建設業 7.2%減

(3) 特別に支払われた給与

全規模	1,928円	18.9%減
規模30人以上	1,841円	43.1%減

(4) 実質賃金：現金給与総額を消費者物価指数で除した額

全規模	2.1%減
-----	-------

2 労働時間の動き

一人平均月間実労働時間は、全規模の調査産業計で153.5時間、前年同月比1.5%の増となった。(規模30人以上では156.5時間、1.4%増)

(1) 所定内労働時間

全規模	143.9時間、	1.2%増
規模30人以上	145.2時間、	1.3%増

(2) 所定外労働時間

全規模	9.6時間、	4.3%増
規模30人以上	11.3時間、	3.7%増

- ・ 所定外労働時間が増加した産業(全規模)
不動産業 7.8時間、178.6%増
建設業 10.0時間、24.8%増
- ・ 所定外労働時間が減少した産業(全規模)
教育、学習支援業 3.5時間、37.5%減
電気・ガス・熱供給・水道業 15.2時間、13.6%減

3 雇用の動き

常用労働者は、全規模の調査産業計で1,591,304人、前年同月比0.9%の増となった。

そのうち、パートタイム労働者は429,451人で、27.0%(男性労働者のうち14.1%、女性労働者のうち42.8%)を占めており、この比率は前年同月から0.5ポイント増加した。

・ 産業別パートタイム労働者の占める割合(全規模)

飲食店、宿泊業	80.1%
卸売・小売業	41.5%
複合サービス事業	27.7%

* 注意

・ 増減率はすべて前年同月比である。なお、日本標準産業分類の改訂による産業分類内容の変更に伴い、増減率は産業分類により、計算方法が異なる。

「TL 調査産業計」、「F 製造業」は、平成16年1月分以降の指数を修正し指数比較で計算。

「E 建設業」、「G 電気・ガス・熱供給・水道業」は、平成15年以前の指数にそのまま平成16年の指数を接続させて、指数比較で計算。

その他の産業大分類(「H 情報通信業」、「I 運輸業」等)は、指数の作成ができないため実数比較により計算。